

会議・セクター	開催予定／実績	主な内容・議題・進捗状況
総合事務局 (企画運営会議・調整会議)	6月13日(金) 第1回調整会議 9月19日(金) 第1回企画運営会議 12月12日(金) 第2回調整会議 3月20日(金) 第2回企画運営会議 4～12月の第一土日 赤谷の日	①赤谷の森基本構想の改定 (〆切12月12日) ②各WGの検討に関連する事項 他
赤谷プロジェクト地域協議会	①旧三国街道の活用：7/13(日)三国山のお花畑を歩こうツアー開催 (仮称) ②赤谷の森の恵みの活用：akaya カフェの開催、カスタネット工房の支援・協力、たくみの里との連携検討 ③赤谷プロジェクトの地域拠点づくり：みなかみ町や群馬県との連携と検討 ④地元小中学生などへの環境教育活動：新治小学校サマースクール 7/23、遠足 10月頃 ⑤地域への普及啓蒙：「赤谷湖湖上花火大会 8月下旬」など ⑥その他	
関東森林管理局 (赤谷森林ふれあい推進センター、利根沼田森林管理署)	①地域活動 (広報／環境教育／視察対応等) (赤谷センター) ・赤谷の森だより発行年3回 (8月11月2月)、ブログ、メルマガ、上毛高原駅ブース (5月1ヶ月間) 他 ・赤谷の森自然散策：みなかみ町観光課・民話と紙芝居の家と連携 (5/24：参加者25名、10/25、2/11) ・外部イベントの参加：赤城南ろくフェスタ 4/12、敷島公園祭り 4/29、21世紀の森 8/24、放送大学学園祭 9/19～20 ・ココイラ (みなかみわぱり) 3企画 (8/25or 26取材日「松ノ子デラックス豪華版」) 9/26～10/26 日程未定 ・環境教育の取組：新治小5年 7/23・6年、沼田北小 10/2、おゆみ野中2年特別支援学級 6/27 他 ・研修セミナーへの協力：放送大学 5/17～18、群馬県農林大学校 10/23、利根実業高校、関東森林管理局森林スペシャリスト研修 5/18～19、林野庁研修、等 随時対応 ・視察対応随時対応 (参考 (実績)：H25年度11件/95名、H24年度10件/58名) ②赤谷プロジェクトの知見を活用した環境教育 (赤谷センター) ・ホンドテンを題材にした環境教育教材の開発 (仮称：「テンモニからはじめる森林環境学習の手法」) ③調査活動 ・エリア6「新時代の人工林管理」における間伐手法の検討 (利根沼田森林管理署・赤谷センター)	
日本自然保護協会	①支援企業のCSR活動との連携：(株)ニコン、(株)資生堂、(株)千趣会 等 ②イヌワシ試験地の意義の発信、モニタリングの仕組みと体制づくり ③赤谷プロジェクトを発信する拠点づくり、イベント開催、広報活動	
自然環境モニタリング会議	第1回：9月頃を予定 第2回：1月頃を予定 (現地)	①「生物多様性の復元に向けた概ね20年間の計画」(仮称「赤谷の森20年計画」)の取りまとめ ②赤谷の森における生物多様性の総合評価
植生管理WG	第1回：6月8日 第2回：9月頃を予定 第3回：1月頃を予定	①人工林を自然林に復元するまでの時間軸の整理 (復元手法によって目標植生に到達するまでの時間の違いがわかるような管理シナリオの検討) ②概ね20年間の自然林復元と人工林管理の計画 (案) の検討 ③エリア1の人工林の取り扱い (主伐/間伐) にかかる方針の検討 ④人工林を自然林に復元するための試験方針の検討 ⑤植生WGから見た赤谷の森の現状評価 ⑥伐採予定の分収育林の今後の管理方法について
ほ乳類WG	第1回：8月頃を予定 第2回：10月頃 (現地) を予定 第3回：1月頃 (現地) を予定	①赤谷の森のほ乳類の現状評価 ②ニホンジカの摂食状況の現状評価方法の検討 ③管理ツールボックスを用いたニホンジカ対策手法の検討
猛禽類モニタリングWG	第1回：6月28日 第2回：9月頃 (現地) 第3回：1月頃	①イヌワシ試験地計画に沿ったモニタリング・分析・評価の実行。 ②クマタカのハビタットの質を向上させる森林管理手法の検討。(特に人工林管理を念頭に) ③モニタリング調査結果からの赤谷の森の評価
溪流環境復元WG	第1回：6月9日 第2回：1月頃	①溪流概況調査報告書作成 ②「溪流概況調査」の結果を踏まえた次のアクションの検討 (溪流環境復元に係る基本的な方針や手法等) の検討 ③茂倉沢溪流環境のモニタリング結果をどのような体制や方法で評価するかなど、局治山検討委員会の機能をどのように引き継ぐかの検討
環境教育WG	第1回：4月17日 第2回：5月29日 第3回：7月30～31日 (現地) 第4回：10月頃	①いきもの村の将来像を念頭に置いた環境管理計画の策定と活動の実施。 ②小出俣を活用した“教育的な過ごし方”のメニュー作成。 ③赤谷の日の活動の検討

地域づくりWG	第1回：4月6日 第2回：8月下旬頃 第3回：12月頃	①「地域住民意向アンケート」結果の解析に基づく、企画運営会議及び自然環境モニタリング会議への提案。 ②森の恵みを利用した小さな地域産業やスモールビジネスづくりの検討＝たくみの里との連携の模索 ③赤谷の森に隣接する民有林との連携した取り組み案の検討と情報整理。 ④みなかみ町と連携した取り組み 赤谷プロジェクト活動報告会（5/11）
フィールド利用管理WG	予定なし	
赤谷の森基本構想改定検討会	準備会議 4月6日 第1回 4月30日 第2回 5月30日 第3回 7月下旬 第4回 8月下旬 第5回 10月上旬	①赤谷の森基本構想の改定 ②赤谷の森基本構想を改定するための場や機会の設定。

<自然環境モニタリング会議及び各WG等の委員>

自然環境モニタリング会議

座長：亀山章（東京農工大学名誉教授／景観生態学）

委員：梶光一（東京農工大学教授／動物生態学）、田中浩（森林総合研究所 研究コーディネータ／森林生態学）、
土屋俊幸（東京農工大学教授／森林政策学）、中井達郎（国土舘大学非常勤講師／自然地理学）、
山崎亨（アジア猛禽類ネットワーク会長／鳥類生態学）

植生管理ワーキンググループ

座長：田中浩（森林総合研究所 研究コーディネータ）

委員：亀山章（東京農工大学名誉教授）、酒井武（森林総合研究所）、長池卓男（山梨県森林総合研究所）
長島成和（株式会社興林）

猛禽類モニタリングワーキンググループ

座長：山崎亨（アジア猛禽類ネットワーク会長）

委員：松本文勝（日本イヌワシ研究会）、水上貴博（日本イヌワシ研究会）、横山隆一（公益財団法人日本自然保護協会）

ほ乳類モニタリングワーキンググループ（今年度はニホンジカ検討チーム委員を含む）

座長：梶光一（東京農工大学教授）、

委員：長池卓男（山梨県森林総合研究所）、吉川正人（東京農工大学准教授）、赤坂宗光（東京農工大学講師）

溪流環境復元ワーキンググループ

座長：中井達郎（国土舘大学非常勤講師）

委員：高橋剛一郎（富山県立大学教授）

地域づくりワーキンググループ

座長：林泉（赤谷プロジェクト地域協議会代表幹事）

委員：土屋俊幸（東京農工大学教授）、茅野恒秀（信州大学准教授）

環境教育ワーキンググループ

座長：横山隆一（公益財団法人日本自然保護協会）

基本構想改定検討会

委員：土屋俊幸（東京農工大学教授）

以上